

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：科学論 ILAS Seminar :Philosophy and History of Science			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 青山 拓央		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	教育院棟演習室21			使用言語	日本語
キーワード	哲学および倫理学関連 / 分析哲学 / 科学哲学						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
<p>哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行ないます(単位取得には積極的な発言が必要です)。 教科書の文章をクラス全体で精読するほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもとで、ディスカッションを実施します。</p>							
[到達目標]							
文章精読とディスカッションの技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。							
[授業計画と内容]							
<p>第1回：授業についてのガイダンスを行なう。 第2回：教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。 第3回～第14回：各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。 第15回：フィードバック</p>							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。(詳細は講義のガイダンスにて説明します。)							
[教科書]							
青山拓央『哲学の問い』(ちくま新書) ISBN:978-4480076328							
[参考書等]							
(参考書) 授業中に紹介する							
[授業外学修(予習・復習)等]							
各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なうかを考えておく。							
[その他(オフィスアワー等)]							
連絡方法等については教員のウェブサイトを参照してください。活発な議論への参加を期待します。							
ILASセミナー：科学論(2)へ続く							

ILASセミナー : 科学論(2)

総合人間学部の学生は、別途選抜を行なう場合があるので、総合人間学部生用のシラバスの授業計画をご覧ください。

[主要授業科目(学部・学科名)]